

一年を振り返って

2021-22 年度幹事 上野 聡

先ずは、皆様のご協力のお陰で、2021-22 年度、幹事としての任務をそれなりに果たせたかなと安堵しております。

振り返りますと 2009 年 4 月に入会し、以降諸々有り、ロータリー活動に対し【好きではないが、嫌いではない】というスタンスで臨んできた私でした。

理事役員の経験としては、2014-15 年、2018-19 年から 2020-21 年の 4 年、先の理由で「出来る範囲で言われた事はやる」で過ごして来ました。

そんな私に順番だからと巡って来た幹事職、J C からの長い付き合いの平野会長の幹事を務める事となり、「これも縁だな」と感じました。

2020-21 年度幹事の野口さんから「上野さん、これ引き継ぎの資料です」と 2020 年 12 月頃渡されたメモリースティックの資料を見て、最初に思った事は、「これ結構大変だな」でした。正直、面倒くさいなと思いながら、平野会長に恥を搔かせてはいけないと思い、資料の確認から始めました。

予定者会議の資料、活動計画書の作成等々、進めるにあたり役に立ったのは、J C での様々な経験でした。また、私の事をご存じの方はご理解されている通りの性分なので、資料等は、そこそこ仕上げる事が出来たと思います。

いよいよ始まった 2021-22 年度、ロータリー賞 13 の目標を示した平野会長とは、「R I、地区からの要請に対して、スタンダードに臨みましょう」と決めてスタートしました。

中島ガバナー補佐ご来訪の 7 月第一例会、梶原ガバナー公式訪問の 7 月第二例会と順調にスタートしたのも束の間、新型コロナウイルス感染症対応により、8 月、9 月、1 月第二、2 月と例会が休会となりましたが、通常例会 15 回、市原中央 RC さんとの合同含め親睦夜例会 2 回、9 月ロータリー奉仕デーの桜さんさん会さんとの河川清掃、10 月成田山新勝寺で実施の世界ポリオデー祈願プロジェクトへの参加、同じく 10 月地区大会、11 月ロータリー情報研修会、2 月親睦ゴルフ、同じく 2 月第 3 Gr, 第 4 Gr 合同会員基盤向上セミナー、5 月 3 年ぶりの箱根親睦旅行、同じく 5 月地区大会記念ゴルフ、6 月第 4 Gr 親睦ゴルフとそれなりに会を運営する事が出来たと思います。

喜ばしい事では、4 月の地区研修・協議会に於いて、中島ガバナー補佐のご推薦により、奉仕活動優秀ロータリアンとして本多委員長、檜垣委員長が表彰されました。会員増強 10 名は、地区内 1 位であり、現在会員数は地区 82 クラブ中 2 位となっております。本多委員長、委員会の皆様、ありがとうございました。

ロータリー財団への寄付は、地区 82 クラブ中 5 位の 22,200 ドル、全会員 100 ドルの寄付、ポイント使用に依る 100%ポールハリスフェローも達成しました。そして、米山記念奨学会への特別寄付 135 万円も地区 82 クラブ中 4 位と結果を残せたと思います。これらについては、檜垣委員長とタッグを組み取り組んだ結果ですが、奇しくも私の中のロータリーを【嫌いではない】ポジションに導いた、当時地区幹事長の現梶原ガバナーに釣られて務めた 2015-16 の地区米山記念奨学委員会委員、J C 同期理事長、松戸 RC の森田さんに釣られて務めた 2016-17、2017-18 の地区インターアクト委員会委員での経験が生きました。

そして、貴重な経験としては、保川有梨さんのロータリー財団グローバル補助金奨学生への応募でした。平野会長、私も未経験でしたが、地区ロータリー財団統括委員会、市原中央 RC の時田さんにご指導を頂き、応募資料作成、面接を経て、地区での合格を頂きました。その後、実施国側 RC として、世界で 2 番目に古いサンフランシスコ RC にお世話になる事となり、6 月 10 日に正式に申請書がロータリー財団に承認され、無事サンフランシスコへの留学を成すことが出来て安堵しております。これは、保川さんが優秀である事は勿論ですが、2020-21 年度、2021-22 年度の市原 RC のロータリー財団への寄付実績、そして、平野会長、私のポール・ハリス・ソサエティ入会へのご褒美だった様な気がして大変嬉しく思っております。

結びになりますが、何を言っても何をやっても「任せるよ」といつもニコニコの平野会長、各種手続き連絡等を完璧にこなして頂いた事務局の川島さん、ご活躍頂いた理事役員の皆様、そして何より会員の皆様に感謝申し上げます。一年間本当にありがとうございました。

平野会長にご褒美を頂きました！

